

平成24年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	体育・保健体育デジタル教材の作成		担当部局庁	スポーツ・青少年局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度		担当課室	参事官(体育・青少年スポーツ担当)		参事官 長登 健		
会計区分	一般会計		施策名	X II -1 子どもの体力の向上				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	スポーツ基本法第17条		関係する計画、 通知等	教育振興基本計画(平成20年7月1日 閣議決定) スポーツ振興基本計画(平成18年9月21日改定) スポーツ立国戦略(平成22年8月26日) スポーツ基本法(平成23年6月) スポーツ基本計画(平成24年3月30日策定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度 以内)	児童生徒に模範となる実技をビジュアルに示すため、体育・保健体育のデジタル教材を作成し、教員の実技指導を支援する。							
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	小学校で充実した体育の授業を実施するには、教員が学年(低・中・高)ごとの指導内容と指導上の留意点などを十分に理解する必要があり、このため、小学校体育の円滑な実施を図るため、動きのイメージをとらえやすい動画を用いた指導用「デジタル教材」を作成する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予 算 の 状 況	当初予算			36	32.9	22.9	
		補正予算			-			
		繰越し等			△ 14	14		
		計			22	46.9	22.9	
		執行額			1.4			
	執行率(%)			6.4%				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	教員への支援に対する成果指標を定量的に示すことは困難。		成果実績		-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	小学校で充実した体育の授業を実施するため、デジタル教材を配布する学校数		活動実績 (当初見込み)	箇所	-	-	-	(21,181) (21,181)
単位当たり コスト	1校当たりのコスト (1,553円/学校数)		算出根拠	単位当たりのコスト=平成24年度予算額32.9百万円/本事業 に取り組む学校数21,181校				
平成 24 ・ 25 年度 予算 内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	0.7百万円	0.6百万円					
	職員旅費	0.1百万円	0.1百万円					
	委員等旅費	0.8百万円	0.8百万円					
	スポーツ振興事業委託費	31.3百万円	21.3百万円					
	計	32.9百万円	22.9百万円					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	<p>当事業については、スポーツ基本計画において、「児童生徒に模範となる実技を視覚的に示すための体育・保健体育の授業のためのデジタル教材の作成・提供等の取組を推進する」と明記されるなど、政策の優先度が極めて高い事業である。学校における体育の円滑な実施といった目的を実現するためには、国が総合的に推進していく必要がある。</p> <p>不用率が大きくなっている理由は、デジタル教材(原版)作成等の発注にあたって、一般競争入札を実施した結果、契約価格が予定を大幅に下回ったためである。</p>
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	<p>支出先の認定に当たっては、十分な公告期間を確保した上で、公募(一般競争入札)を実施しており、その妥当性及び競争性を確保している。</p> <p>また、委託契約の締結に当たっては、事業経費の費目・用途の内容を厳正に審査するなど、その必要性について適切にチェックしている。</p>
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	<p>体育の初歩的な段階である小学校で充実した授業を実施するには、児童が動きのポイントを理解すると共に、教員が指導内容とその留意点などを十分理解する必要があり、動きのイメージをとらえやすい動画を用いたデジタル教材は、印刷媒体よりも効果的な手段である。</p>
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	※類似事業名とその所管部局・府省名	
点検結果		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	<p>本事業は、児童生徒に模範となる実技を示すための教材作成を計画していたが、有識者会議等において、教員の指導資料としても活用できるよう、再度編集・修正する必要があるとの意見が出された。これらの検討を踏まえた成果物を全国の小学校に対して配付し、また指導主事を対象とした会議等で活用することは、教員が学年ごとの指導上の留意点等を理解し、小学校体育の円滑な実施を図るためには必要である。</p>
予算監視・効率化チームの所見			
抜本的改善		<p>1. 事業評価の観点: この事業は、児童生徒に模範となる実技をビジュアルに示すため、体育・保健体育のデジタル教材を作成し、教員の実技指導を支援する事業であり、予算執行状況の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見: 当該事業は、平成23年度決算において多額の不用額が生じていることから、不用額が生じた要因を詳細に分析したうえで、平成25年度概算要求に予算の大幅な縮減を反映すべきである。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減		<p>不用率が大きくなっているのは、デジタル教材(原版)作成等の発注にあたって、一般競争入札を実施した結果、契約価格が予定を大幅に下回ったためである。</p> <p>平成23年度の執行実績を踏まえ、映像制作費を見直すこと等により、平成25年度概算要求額に▲10百万円を反映した。</p>	
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p>○教育振興基本計画について: http://www.mext.go.jp/a_menu/keikaku/</p> <p>○スポーツ振興基本計画について: http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/plan/06031014.htm</p> <p>○スポーツ立国戦略について: http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/rikkoku/1297182.htm</p> <p>○スポーツ基本計画: http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/plan/index.htm</p>			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	-	平成23年行政事業レビュー	新23-0074

A. 文部科学省
1. 4百万円

諸謝金 0.8百万円
職員旅費、委員等旅費 0.6百万円を含む。

〔 小学校で充実した体育の授業を実施するには、教員が学年(低・中・高)ごとの指導内容と指導上の留意点などを十分に理解する必要があり、このため、小学校体育の円滑な実施を図るため、動きのイメージをとらえやすい動画を用いた指導用「デジタル教材」を作成する。 〕

※一般競争入札により委託先として株式会社広報企画社を選定し、14.4百万円で委託契約済みだが、教材作成に遅れが生じたため、平成24年度に繰り越した。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかにつ
いて補足する)(単
位:百万円)

A.文部科学省			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
諸謝金	教材作成に係る会議出席者の謝金	0.8			
その他	教材作成に係る会議出席者の旅費等	0.6			
計		1.4	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計			計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)